

札幌市政報告第 121 号

「札幌市の現状と今後の課題」

- 1.札幌市の財政状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 2.札幌市会計別市債残高・市債推移・財政調整基金・・・・・・・・P2～P3
札幌市歳入の明細・札幌市歳出の明細
保健福祉費が全体の 37.4%を占める。
- 3.札幌市生活保護扶助費の推移・・・・・・・・・・・・・・・・P4～P5
一般会計に占める割合 13.9% 生活保護不正受給額 341 百万円
札幌市生活保護各区分概要
- 4.札幌市少子化対策と高齢社会対策・・・・・・・・・・・・P6
- 5.高齢社会待ったなし医療・福祉・介護が札幌市を悩ます・・・・P7
- 6.札幌市介護施設の整備計画・区別整備率・・・・・・・・・・P8～P9
- 7.今札幌の教育が危ない…子どもは天使・宝・・・・・・・・P10
札幌市学校数及び生徒数・札幌市小人数学級実施推移・札幌市いじめ、不登校
- 8.家庭ごみ処理手数料(ごみ袋)30 億円の使いみち・・・・P11～P13
ごみ量管理目標と実績・ごみパト隊の活動状況
- 9.札幌市町内会・自治会の加入状況 28 年度には全市 70%を切る。・・・P14
- 10.北海道新幹線(新函館・北斗→札幌)札幌への早期延伸・・・・P15
経済波及効果 2 兆 6 千億円
- 11.市議会超党派プロジェクトチーム議員立法の成果・・・・P16～P17
・札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例
・住宅エコ・リフォーム促進条例
- 12.平成 27 年度札幌市除雪事業計画・・・・・・・・・・・・P18～P19
- 13.平成 27 年度札幌市国民健康保険料・・・・・・・・・・・・P20
- 14.札幌市都市基盤建て替えの集中・・・・・・・・・・・・P21
- 15.札幌市・豊平区・地域の課題に果敢に挑戦し解決した・・・・P22～P30
市議会議員は札幌市・豊平区・地域のために 4 年間に何を実現したのか卓越した政策、行動力が問われる
1.月寒水源池通りごみ屋敷解決 2.月寒公民館舞台照明増設と音響機器改修
3.月寒小学校外壁工事完了 4.月寒六区町内会市道の舗装工事一部完了
5.美園環状通歩道の樹木剪定完了 6.月寒公園事業費 26 億円かけて大整備工事中
7.地下鉄南平岸駅前歩道上の放置自転車を駐輪場増設により解決
8.中の島小学校改築工事着工決定 9.児童養護施設新園舎の建て替え決定

こんどう和雄政務調査室

札幌市議会議員 こんどう 和雄

〒062-0933 札幌市豊平区平岸 3 条 9 丁目 10-7

TEL818-3615 ・ FAX818-3319

E-mail : shigi@kazuonet.org

http://www.kazuonet.org

は じ め に

平素より、札幌市の「安全・安心・住み良い街づくり」に一方ならぬご指導とお力添えを賜り、感謝とお礼を申し上げます。

日々、街を明るく元気にするのは、地域で一番身近な存在の市会議員です。その一番身近な存在である市会議員が地域の信頼を得ているかと言うことです。判りやすく言いますと、自ら政策を立案し、目標に向って不退転の決意で実現を目指すことが議員に求められています。

私事で恐縮に存じますが、豊平区の良き代弁者として札幌市政の場に送っていただき本年4月で5期18年目となります。

いつも多くの地域の皆様が近藤の背中を押していただき、地域と札幌市との架け橋となって、市長をはじめ理事者に対し政策を提言して、地域をはじめ、札幌市の諸課題を時間がかかっても、しっかりと解決が出来る事に胸を熱くしております。判りやすく言いますと、単に言葉ではなく信頼と誠実を貫いて行動力で課題をしっかりと解決することに尽きます。

昨年5月には、お陰様で市議会で選任され公益財団法人札幌交響楽団評議員に就任いたしました。

一方、委員会は経済常任委員会委員として、①市内商店街の活性化②毎年6月に開催される札幌のイベント、よさこい祭りの札幌市が主催してサミット開催③大通地区、駅前通りのイルミネーションの具体化等、一方では市議会超党派8名で組織（自民3人、公明3人、民主2人）する、政策プロジェクトの会長として、194万人札幌市民（お客様です）のために「感謝と初心を忘れず」現場主義と市民目線でしっかりと取り組んでいます。

自由民主党会派（25名）では、札幌副会長として高木ひろひさ札幌会長を補佐し、防災プロジェクト座長等、多くの役職をいただいております。職責の重さを噛み締めて一生懸命、行動で示しているところでございます。

札幌市今後の課題は先ず①間もなくはじまる人口減少問題②「景気回復と雇用確保」③「期間を定めて原発に依存しない再生可能なエネルギー開発と電力の安定供給」④「日本一子育てしやすいまち」⑤「高齢化社会福祉の中で医療、福祉、介護の充実」⑥「災害（地震、風水害）に強い安全と安心の街づくり」⑦「いじめのない学校、子どもが主役の教育改革」⑧「冬の除雪体制の確立」⑨「人、生物の命を大切に」⑩「町内会加入率の向上支援」⑪「市民の生活に役立つ議員立法による条例制定」等、札幌市民の日常生活に密着した諸課題の解決と実現を目指して札幌市長をはじめ市、理事者に対して政策を積極的に提言し、実行を求め、194万人札幌市民の皆様の幸せを願い全力投球してまいります。

どうぞ今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。何かお役に立つことがございましたらご遠慮なくお声をかけて下さい。

結びになりますが、皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げご挨拶といたします。

1. 札幌市の財政状況

札幌市の厳しい財政状況が今後も続くため札幌市の景気回復と雇用確保は厳しい。札幌市の財政状況を近藤議員が調査、分析した結果です。

残念ながら札幌市の財政は、国からの交付金に頼って生きています。

札幌市は全国第1位 20年度 1,009 億円 21年度 1,017 億円 22年度 1,027 億円

23年度 1,004 億円 24年度 1,052 億円 25年度 963 億円 26年度 923 億円。

税収構造は札幌には、大企業がなく、財政基盤が脆弱すぎるのが大きな問題です。札幌市は①人口減少問題②少子・高齢社会③市民 1 人当たり所得引上④生活保護等の課題山積。

	札幌市平成 25 年度	平成 26 年度	評価
	全国 20 位	政令都市中 19 位	○△×
一口に人間で言う健康度指数です。			
①財政力指数が弱い・・・1 に近いほど良い	0.692%	0.701%	×
	19 位	19 位	はずかしい
②実質公債費比率・・・健全化判断の比率	6.7%	5.9%	○
低い程良好	4 位	4 位	
③将来負担比率・・・一般会計が将来負担する負債の額	78.0%	72.1%	○
	7 位	6 位	
④経常収支比率・・・低い程財政の弾力性高い	92.3%	94.0%	○
80%を超えると経常経費の抑制要	7 位	6 位	
⑤実質収支比率・・・標準財政規模の 3～5%が良い	1.3%	1.0%	△
	11 位	11 位	
⑥歳入総額に占める地方交付税の割合	11.3%	10.4%	×
・・・普通、特別交付税	最下位	最下位	はずかしい
⑦経常一般財源比率・・・「100」を超えると余裕ある	88.2%	88.6%	×
	17 位	19 位	
⑧歳出総額に占める投資的経費の割合	10.4%	12.2 %	△
・・・支出効果が後年度の住民サービス提供につながる	16 位	12 位	
⑨歳出総額に占める消費的経費の割合	62.5%	61.8%	×
・・・人件費、物件費、扶助費等、大きい場合は節減を図る努力要	17 位	16 位	
⑩歳出総額に占める義務的経費の割合	51.1%	50.2%	×
・・・人件費、生活扶助費、公債費、高いほど要注意	12 位	16 位	
	義務的経費 4,298 億円	義務的経費 4,409 億円	
⑪ラスパイレス指数・・・国家公務員の給与を 100 とした場合			
札幌市職員の給与水準	108.8%	100.4%	△
	8 位	8 位	
⑫人口 1 人当たりの市税総額の推移・・・市民税	144 千円	148 千円	×
	19 位	19 位	はずかしい
⑬1 人当たり市民所得・・・平成 23 年度・平成 24 年度	2,658 千円		×
	19 位	はずかしい	
⑭生活保護率・・・世帯数 53,668 人員 74,543	38.3‰	全国	×
		札幌市 2 位 大阪市 1 位	

○△× 評価 ○ 3 △ 3 × 8

2.札幌市会計別市債現在高

○三会計市債残高合計 1兆7,175億円

○市民1人当り借金 885,300円

市債残高推移

(単位:百万円、%)

区分	23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(実績)		26年度(見込み)		27年度(骨格)	
		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率
一般会計	950,438	▲1.4	950,781	0.0	957,724	▲0.7	994,164	3.8	1,009,496	1.5
特別会計	4,287	▲8.8	3,483	▲18.8	3,008	▲13.6	2,779	▲7.6	2,169	▲22.0
企業会計	827,737	▲4.3	789,698	▲4.6	750,283	▲5.0	720,596	▲4.0	694,610	▲3.6
合計	1,782,463	▲2.8	1,743,962	▲2.2	1,711,015	▲1.9	1,717,540	0.4	1,706,275	▲0.7

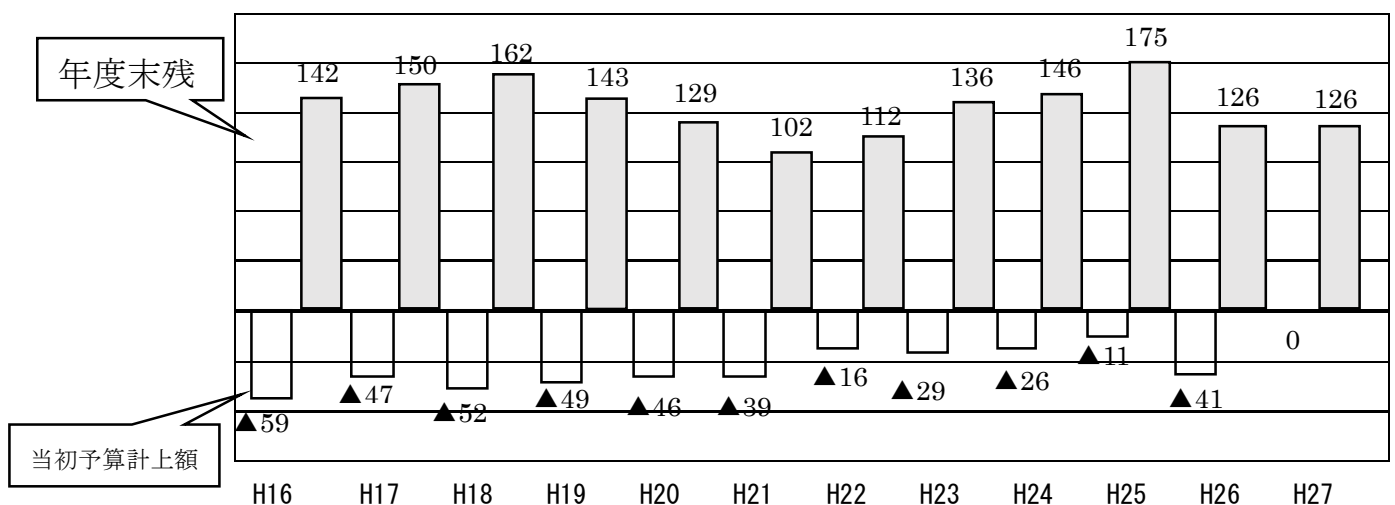
市債推移

(単位:百万円、%)

区分	23年度(肉付後)		24年度		25年度		26年度		27年度(骨格)	
		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率
建設債	34,553	16.5	34,979	1.2	30,723	▲12.2	36,275	18.1	35,201	▲3.0
臨時財政 対策債	43,100	▲11.1	56,900	32.0	64,500	13.4	54,500	▲15.5	52,000	▲4.6
合計	77,653	▲0.6	91,879	18.3	95,223	3.6	90,775	▲4.7	87,201	▲3.9

財政調整基金の状況

(単位:億円)



札幌市歳入の明細

(単位:千円、%)

区 分	25 年度 決算額 A	26 年度 最終予算額 B	26 年度 決算額 C	増減費 ＜決算比＞ C－A	伸率 $\frac{C-A}{A}$
総 額	851,720,581	930,344,537	891,127,711	39,407,130	4.6
市 税	279,543,903	284,900,000	286,778,231	7,234,328	2.6
地 方 交 付 税	96,269,848	91,242,922	92,319,111	▲3,950,737	▲4.1
国 庫 支 出 金	184,219,898	203,344,853	187,636,988	3,417,090	1.9
諸 収 入	95,228,809	102,863,864	95,246,720	17,911	0.0
市 債	82,885,000	108,718,000	99,840,000	16,955,000	20.5
うち臨時財政対策債	58,000,000	59,342,000	59,342,000	1,342,000	2.3
そ の 他	113,573,123	139,274,898	129,306,661	15,733,538	13.9
(再掲)地方交付税+臨時財政対策債	154,269,848	150,584,922	151,661,111	▲2,608,737	▲1.7

札幌市歳出の明細

(単位:千円、%)

区分	25 年度 決算額 A	26 年度 最終予算額 B	26 年度 決算額 C	増減額 ＜決算比＞ C－A	伸率 ＜決算比＞ $\frac{C-A}{A}$	翌年度 繰越額 D	不用額 B－C－D
総 額	841,994,467	930,344,537	882,717,429	40,722,962	4.8	17,459,756	30,167,352
総 務 費	28,484,945	48,902,935	46,479,335	17,994,390	63.2	752,949	1,670,651
保健福祉費	315,426,830	342,881,910	330,977,900	15,551,070	4.9	3,088,554	8,815,456
環 境 費	14,871,017	19,809,477	18,419,252	3,548,235	23.9	609,000	781,225
経 済 費	78,549,321	87,136,917	78,859,231	309,910	0.4	1,473,301	6,804,385
土 木 費	91,577,696	114,319,964	100,391,068	8,813,372	9.6	8,026,435	5,902,461
消 防 費	5,712,915	5,083,770	4,992,722	▲720,193	▲12.6	0	91,048
教 育 費	40,518,270	49,682,589	45,337,999	4,819,729	11.9	3,233,870	1,110,720
公 債 費	91,479,760	88,948,000	88,946,856	▲2,532,904	▲2.8	0	1,144
諸支出金	84,626,756	82,356,271	79,144,444	▲5,482,312	▲6.5	191,947	3,019,880
そ の 他	90,746,957	91,222,704	89,168,621	▲1,578,336	▲1.7	83,700	1,970,383

近藤議員の政策提言

- 1.札幌市は大企業病になっている。平成 27 年 4 月 1 日現在 職員数 14,400 人
- 2.札幌市は市民の尊い税金で成り立っていることを忘れてはならない。
3. 68 人の議員も、議員報酬 1,200 万円、政務活動費 年間 480 万円、計 1,680 万円という巨額のお金をいただいております。
一円たりとも無駄にしていけないという信念があるのか？
4. 26 年度決算で保健福祉費が 37.4%、経済費 8.9%、土木費 11.4%、教育費は僅か 5%、環境費 2.1%と財源不足の問題が、バランスを欠いています。
これは市税収入は、2,860 億(歳入に占める割合 31.1%)と市税収入が伸びない。

3. 札幌市生活保護扶助費推移

(単位：百万円)

年 度 項 目		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
生 活 保 護 費	生 活 扶 助 費	41,747	43,963	46,108	45,580	45,751
	住 宅 扶 助 費	16,656	17,978	19,134	19,813	20,201
	教 育 扶 助 費	910	948	957	938	952
	医 療 扶 助 費	53,330	56,682	59,210	60,000	59,596
	就労自立給付金					15
	介 護 扶 助 費	1,500	1,622	1,715	1,767	1,840
	その他の扶助費	704	770	808	826	828
	施 設 事 務 費	397	397	412	386	380
	合 計 金 額	115,244	122,360	128,344	129,310	129,563
不正受給件数		461	632	697	812	791
不正受給額		248	338	335	392	341

札幌市生活保護扶助費今後の課題・・・最初に生活保護扶助費は生活困窮者には必要です。

- 1 札幌市生活保護費・・・札幌市全国 2 位 大阪市全国 1 位
- 2 札幌市生活保護世帯数・・・53,668 世帯
- 3 札幌市生活保護受給者数・・・74,543 人
- 4 平成 26 年度生活保護費決算額 1,296 億円。
- 5 平成 26 年度一般会計決算額 9,303 億円 予算に占める割合 13.9%。
- 6 生活保護扶助費不正受給者の撲滅。
- 7 生活保護受給者のうち高齢者の方 42.4% 障がい者の方 13.6% 傷病者の方 14.7% 計 70.7%となり、今後も受給が継続されると考えられ年間約 916 億円と多額になります。

近藤議員の政策提言

1. 就労の意欲のある方をハローワーク等で、就職させ自立を促す。
2. 不正受給額が毎年 3 億円に上り、市役所に専門に取り締まる部課を新設する。
3. 札幌市の景気を早期に回復させ雇用確保が強くもとめられております。何んとしても若者が地元北海道で就職できるよう地元企業の活性化に力を入れる。2007 年までは、毎年大学等を卒業しても就職先がなく、毎年 10,000 人の若者が東京、大阪等に、就職する、問題があります。併せて年金支給までの働き場所を確保・市民所得の引上げをはかる。

札幌市生活保護各区分別概要

こんどう和雄政務調査室

④ ③ ① ② ⑤

平成27 10分	札幌市		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
	前年同月	札幌市										
人口	1,943,598	1,948,262	236,220	284,336	260,766	209,745	127,862	218,875	115,946	141,090	212,680	140,742
被保護世帯数	52,952	53,668	6,763	7,959	9,093	8,449	3,039	6,294	1,544	2,831	5,313	2,383
被保護人員	74,430	74,543	8,266	11,106	13,002	11,769	4,513	8,414	2,344	3,955	7,476	3,698
被保護率(%)	38.3	38.3	35.0	39.1	49.9	56.1	35.3	38.4	20.2	28.0	35.2	26.3
申請件数	567	527	73	73	78	88	20	67	17	39	45	27
開始件数	496	477	68	73	81	77	17	49	18	30	38	26
廃止件数	452	441	70	64	61	68	30	52	15	15	37	29
生活扶助	70,003	67,917	7,374	10,195	11,956	10,784	4,204	7,732	2,100	3,450	6,854	3,268
住宅扶助	69,159	68,749	7,520	10,290	12,119	10,902	4,254	7,915	2,056	3,394	7,050	3,249
教育扶助	6,693	6,380	377	1,035	1,241	1,020	419	620	263	311	682	412
介護扶助	8,750	9,573	995	1,339	1,659	1,387	641	1,190	360	648	927	427
医療扶助	64,856	65,172	7,338	9,817	11,397	9,924	4,150	7,463	2,045	3,547	6,258	3,233
入院外	3,704	3,710	555	538	502	563	192	307	164	317	304	268
医療扶助率%	61,152	61,462	6,783	9,279	10,895	9,361	3,958	7,156	1,881	3,230	5,954	2,965
出産扶助	87.1	87.4	88.8	88.4	87.7	84.3	92.0	88.7	87.2	89.7	83.7	87.4
出生率	0	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1
葬祭扶助	2,729	2,579	146	423	486	380	191	263	117	115	289	169
葬祭扶助率%	88	79	8	13	6	16	6	10	3	6	5	6
高齢者	19,185	20,449	2,751	2,948	3,372	3,076	1,159	2,504	593	1,216	2,020	810
障害者	5,989	6,286	948	968	1,121	887	233	665	187	423	587	267
傷病者	6,970	6,848	974	1,033	1,054	1,175	335	819	169	268	732	289
その他	6,809	6,360	999	966	1,001	1,156	299	836	111	222	561	209
高齢者	2,121	2,238	188	337	403	331	167	255	79	155	205	118
母子	5,627	5,443	373	889	1,082	867	355	556	210	214	579	318
障害者	1,011	977	94	121	203	141	85	97	23	48	99	66
傷病者	1,064	1,023	98	138	157	161	88	93	44	59	94	91
その他	4,055	3,899	307	541	685	618	313	457	128	216	424	210
稼働世帯	10,524	10,659	1,243	1,676	1,915	1,671	597	1,137	299	488	1,126	507
非稼働世帯	42,307	42,864	5,489	6,265	7,163	6,741	2,437	5,145	1,245	2,333	4,175	1,871
稼働率%	19.9	19.9	18.5	21.1	21.1	19.9	19.7	18.1	19.4	17.3	21.2	21.3

注) 前年同月の人口は翌月1日現在、平成27年9月の人口は平成27年9月1日現在の推計人口

世帯類型	札幌市		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
	前年同月	札幌市										
総数	52,831	53,523	6,732	7,941	9,078	8,412	3,034	6,282	1,544	2,821	5,301	2,378
高齢者	21,306	22,687	2,939	3,285	3,775	3,407	1,326	2,759	672	1,371	2,225	928
母子	5,627	5,443	373	889	1,082	867	355	556	210	214	579	318
障害者	7,000	7,263	1,042	1,089	1,324	1,028	313	762	210	471	686	333
傷病者	8,034	7,871	1,072	1,171	1,211	1,336	423	912	213	327	826	380
その他	10,864	10,259	1,306	1,507	1,686	1,774	612	1,293	239	438	985	419

注) 停止は除く

世帯	札幌市		中央	北	東
	総数	地区			
世帯	53,668	51,527	6,763	7,959	9,093
人員	1,351	1,351	264	239	85
施設	790	790	95	41	136
世帯	74,543	72,388	8,266	11,106	13,000
人員	1,355	1,355	266	240	85
施設	800	800	101	41	137

世帯	白石		厚別	豊平	清田
	総数	地区			
世帯	8,449	8,007	3,039	6,294	1,544
人員	215	215	46	24	115
施設	227	227	36	40	26
世帯	11,769	11,326	4,513	8,414	2,344
人員	215	215	46	24	115
施設	228	228	36	41	26

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

世帯	南		西	手稲
	総数	地区		
世帯	2,831	2,615	5,313	2,383
人員	161	161	42	160
施設	55	55	98	36
世帯	3,955	3,738	7,476	3,698
人員	161	161	42	161
施設	56	56	98	36

	構成比
高齢者	42.4%
母子	10.2%
障害者	13.6%
傷病者	14.7%
その他	19.2%

4. 札幌市少子化対策と高齢社会対策

札幌市の合計特殊出生率の推移

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
札幌市	1.09	1.09	1.11	1.14	1.16
北海道	1.26	1.25	1.26	1.28	1.27
全 国	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42

目標…札幌市合計特殊出生率 平成 31 年度までに 1.36 14,000 人→15,000 人

近藤議員は、札幌市議会保育関係議員連盟会長で待機児童対策と保育園の質の向上併せて保育士の待遇改善を札幌市、北海道、国に対し強力に働きかけています。

保育園の待機児童ゼロを目指して札幌市長に提言、強力に実行を求めています。

近藤議員は、「札幌を日本一子育てしやすいまち」の実現に一生懸命働きます。

保育園に入園できず待機している子ども 27 年 4 月 1 日現在 69 人 前年 323 人

前年比△254 人 78.7%減

近藤議員の政策提言 保育園増設で待機児童をゼロにせよ。

①札幌市は、若いお父さんお母さんが安心してフルタイムの仕事に専念できるためにも現実には保育園に入れない子どもさんのため、保育園の新設、増設、札幌市の小、中、高校の空教室や、公共施設を開放し、保育施設を早急につくるべきと考えます。

②国は公費負担で保育士をしっかりと増員する。
併せて収入が全産業平均の 7 割程度という待遇を早急に改善する。

③市内の民間学童保育所に対し札幌市がしっかりと援助する。

④保育士の報酬の引上げ

国の処遇改善臨時特例事業

札幌市 25 年度予算 4 億 4,400 万円

1 人当たり 月 8,500 円支給

⑤国の恒久的な処遇改善が急務。日本・札幌の未来を担う子ども達の子育てのため、髪を振り乱して日々、一生懸命ご苦労されている保育士の皆さんの処遇改善に補助金等、国に働きかけて現在良い結果が出ています。

5. 高齢者社会待ったなし「医療、福祉、介護」が札幌市の財政を悩ます。

近藤議員は、札幌市介護施設の充実を目指します。…人生の先輩を大切にする社会の実現。近藤議員は市長を動かし、28年度2月、豊平区平岸2条2丁目に、特別養護老人ホーム(入所定員80人)の新設を決定し、予算を付けました。完成は29年7月です。これからも近藤は地域の皆様と共に歩んでまいります。

①特別養護老人ホーム介護施設入所申込者 7,281人 ②重複申込者を除いた人数 4,555人

特別養護老人ホームの入所申込者の状況(平成27年6月末現在)

要介護度別	内訳	居場所別	内訳
●要介護1	1人	●在宅	1,340人
●要介護2	8人	●サービス付高齢者向け住居	108人
●要介護3	1,881人	●特別養護老人ホーム	65人
●要介護4	1,714人	●老人保健施設	1,373人
●要介護5	943人	●療養型医療施設	148人
●不明	8人	●病院	971人
		●社会福祉施設	453人
		●その他	64人
		●不明	33人
合 計	4,555人	合 計	4,555人

2,657人
全員入居まで
約11年かかります。

…全員入居まで
約19年かかります

近藤議員の政策提言

1. 町内会制度の更なる充実が絶対必要です。日頃から近隣のお付き合いが大切。

町内会加入促進条例制定。

人生の先輩を大切にすることが当たり前のこと、要介護4と5の2,657人の申込みされている方をなんとしても早期に入所を実現しなければならないと考えます。現在札幌市の特別養護老人ホームへの入居人数は年間240人が限度です。(80人×3カ所)

要介護4・5の申込者2,657人全員が入居できるまで11年かかります。要介護1~5の申込者4,555人全員が入居できるまで19年かかります。

2. 高齢化の進行は待ったなし。札幌市の高齢化率の将来予測では、65歳以上の方は平成26年度462,190人 23.8%4人に1人。平成37年には、588,000人 30.5%で3人に1人が高齢者となり、加えて高齢単身者は増加し、平成37年には8世帯に1世帯と予想される。今後「医療」「福祉」「介護」の3本柱が、札幌市政最大のテーマになり、財源の安定的確保が強く求められる。

3. 問題は介護施設の経営の安定的運営が必要。

4. 一番の課題は、介護士不足が常態化し、介護士の給与、職場環境等、待遇改善が急務。民間平均給与より10万円以上低い。結婚や子どもを産めない。

(1) 札幌市の人口

札幌市の人口は、これまで一貫して増加傾向にありましたが、平成27年(2015年)前後をピークに減少傾向に転じることが予測されており、同年からの10年間で見ると、193万7千人から191万1千人へと1.3%減少する見込みです。

(2) 北海道の人口

北海道の人口は、既に減少傾向にあり、平成27年(2015年)からの10年間で、536万人から493万7千人へと7.9%減少する見込みです。そのうち札幌市を除く道内市町村の人口は、344万5千人から306万9千人へと、10.9%減少する見込みです。

また、高齢化率は、同じく10年間で29.0%から34.0%(札幌市を除く道内市町村の場合、31.3%から36.5%)へと上昇する見込みです

6. 札幌市介護施設の整備計画・区別整備率

次期計画における施設・居住系サービスの整備について

計画策定にあたって、平成 27 年度から平成 29 年度までの施設・居住系サービスの整備量の目標を定める。

次期計画期間各年の整備計画（上段は累計数。下段は各年度の整備数）

		平成 26 年度 までの整備分	平成 27 年度 整備分	平成 28 年度 整備分	平成 29 年度 整備分	次期計画整備分 (3 か年合計)	整備の考え方
介護老人福祉施設 ※着工ベース(募集は前年) →供用開始は着工の翌年	か所数	75	78 (3)	81 (3)	85 (4)	(10)	○常時介護が必要な中重度の要介護高齢者の増加を踏まえ、3 年間で 10 施設(定員 800 人分)の整備を行う。 ○このほか、一定の要件のもと、既存施設の増床による整備(定員 100 人分程度)を見込んでいる。
	定員	5,458	5,698 (240)	5,938 (240)	6,258 (320)	(800)	
介護老人保健施設 ※着工ベース(募集は前年) →供用開始は着工の翌年	か所数	48	48 (0)	49 (1)	50 (1)	(2)	○今後の高齢者人口の増加に伴い、在宅復帰施設としての機能がますます重要となっており、入所待機者数の推移も踏まえて、現計画と同じ 2 施設(定員 160 人分)の整備を行う。
	定員	4,415	4,415 (0)	4,495 (80)	4,575 (80)	(160)	
認知症対応型共同生活介護 ※着工ベース(募集は前年)	か所数	245	249 (4)	256 (7)	263 (7)	(18)	○認知症高齢者の要介護者や、単身高齢者世帯の増加を踏まえ、3 年間で 18 事業所(定員 340 人分)の整備を行う。
	定員	4,090	4,170 (130)	4,300 (130)	4,430 (130)	(340)	

札幌市内の介護保険施設等の区別整備率

※ 整備率の高い区から順にしめています。

	特 養	老 健	グループホーム
高 ↑ 区別整備率 ↓ 低	清田区	清田区	白石区
	手稲区	厚別区	手稲区
	厚別区	西 区	清田区
	南 区	中央区	南 区
	北 区	東 区	豊平区
	豊平区	手稲区	北 区
	西 区	南 区	中央区
	白石区	豊平区	東 区
	中央区	白石区	厚別区
	東 区	北 区	西 区

(備考)

- ・特養、老健の区別整備率は、各区の定員数の合計を各区の高齢者人口（65 歳以上）で除して算出
- ・グループホームの区別整備率は、各区の定員数の合計を各区の要支援 2、要介護認定者数（65 歳以上）で除して算出
- ・各区の入所定員数は平成 26 年度事業（平成 25 年度選定分）の数値を反映したもの
- ・グループホームは整備率が低い 4 区（網掛け部分）に限定して公募を実施

7. 今札幌の教育が危ない...子どもは天使・宝。

今、恩師(先生)と呼んでふさわしい教師が何人いますか？子ども達に「命の大切さを」しっかりと教えて下さい。

札幌市学校数及び生徒数

学校数及び児童生徒数 (※札幌市においては分校を含む)

	公立学校総数		在籍児童生徒数	
	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
小 学 校	204 校	204 校	89,445 人	89,783 人
中 学 校	99 校	99 校	44,930 人	45,149 人
高等学校	8 校	8 校	7,571 人	7,596 人
小中高の計	311 校	311 校	142,946 人	142,528 人
特別支援学校	4 校	4 校	270 人	276 人
合 計	315 校	315 校	142,416 人	142,804 人

札幌市小人数学級実施校推移 (1 クラス 35 人)

校 種	学年	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	1	48	43	44	47	39	46	36					
	2		42	37	38	47	39	45	34	55	52	62	57
中学校	1			60	54	48	48	60	54	50	50	50	56

- 少人数学級実践研究事業は、平成 16 年度より実施。平成 16 年度は小学校第 1 学年のみに導入。
- 平成 17 年度より、小学校第 1 学年に加え、第 2 学年にも導入。
- 平成 18 年度より、小学校第 1 及び第 2 学年に加え、中学校第 1 学年にも導入。

2 札幌市いじめの認知件数

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	認知件数	1000 人あたりの発生件数	認知件数	1000 人あたりの発生件数
小学校	276 件	3.1	262 件	2.9
中学校	701 件	15.6	670 件	14.8
高等学校	7 件	0.9	4 件	0.5
特別支援学校	1 件	3.7	9 件	32.6
合計	985 件	6.9	945 件	6.6

3 札幌市不登校児童生徒数

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	不登校児童生徒数	在籍比(出現率)	不登校児童生徒数	在籍比(出現率)
小学校	359 人	0.40%	321 人	0.36%
中学校	1,487 人	3.31%	1,451 人	3.21%
計	1,846 人	1.37%	1,772 人	1.31%

4 高等学校の不登校生徒数

	平成 26 年度	平成 25 年度
不登校生徒数	316 人	300 人
在籍比	4.17%	3.95%

8. 平成 26 年度決算 家庭ごみ処理手数料（指定ごみ袋） 30 億円の使いみち
 札幌市は平成 17 年から家庭ごみは有料化になりました。 (百万円)

項 目		合計
約 17 億円	●新たな分別の開始と市民の取り組みの支援 (うち約 12.5 億円)	1,678
	新たな収集・処理体制を構築するための経費	1,248
	・「雑がみ」の分別収集と資源化	806
	・「枝・葉・草」の分別収集と資源化	312
	・生ごみリサイクルの調査・研究等	13
	・焼却灰リサイクル実施	115
	・小型家電リサイクルの促進	2
	(うち約 4.3 億円)	
	家庭ごみの分別が進むことにより増加する収集・選別のための経費等	430
	・「びん・缶・ペットボトル」の収集と資源化	212
	・「容器包装プラスチック」の収集と資源化	218
約 3 億円	●家庭ごみの発生・排出抑制や資源化促進のための経費	305
	・集団資源回収奨励金	227
	・電動生ごみ処理機などの購入費助成	17
	・生ごみの水切り等の促進	22
	・地区リサイクルセンターの運営管理	7
	・その他	32
約 2 億円	●ごみステーション問題の改善や市民サービス向上のための経費	151
	さっぽろごみパト隊による監視パトロール、排出指導の実施	23
	ごみステーション管理器材購入費・箱型ごみステーション設置費の助成	33
	ごみステーション数の増加に伴う収集経費の増加	95
約 1 億円	●普及啓発・環境教育のための経費	146
	家庭ごみ収集日カレンダー及びごみ分けガイドの作成・配布	83
	リサイクルプラザ宮の沢の運営管理	48
	リユースプラザ等の運営管理	9
	各種啓発冊子の配布、啓発イベントの開催	6
約 7 億円	●家庭ごみ有料化を実施するための経費	717
	指定ごみ袋の製造・保管、収納管理経費	717
家庭ごみ処理手数料合計		2,997

ごみバト隊の活動状況

1 配置人員数の変遷

配置年月	人員数	増減の理由
平成 20 年 10 月	14	先行配置（本格配置に備えて）
平成 21 年 4 月	59	ごみステーション管理支援実働員配置
平成 21 年 7 月	110	「新ごみルール」導入、排出指導強化
平成 22 年 4 月	90	1 連合町内会当たり 1 名を配置
平成 26 年 4 月	104	さわやか収集利用者増に対応し、14 名増員
平成 27 年 4 月	118	共同住宅ごみ排出マナー対策のため増員

2 区別人員配置数（平成 27 年 10 月現在）

清掃事務所	所管区	配置人員数
中央清掃事務所	中央区	20
北清掃事務所	北区	16
東清掃事務所	東区	14
白石清掃事務所	白石区・厚別区	18
豊平清掃事務所	豊平区・清田区	18
南清掃事務所	南区	14
西清掃事務所	西区・手稲区	18
計		118

3 主な業務内容

- 排出指導(パトロール、開封調査、個別指導、立会い指導、啓発)
- ごみステーション浄化
- 共同住宅排出指導台帳の整備
- ごみステーション問題の改善(重点ステーションの改善、重点地区への指導)
- さわやか収集利用世帯のごみ収集
- 地域清掃、ボランティア清掃ごみの収集
- 町内会の美化推進活動の支援
- 地域イベントへの参加、懇談会、出前教室、出前講座の実施

4 活動状況…悪質ごみステーションがありましたら、近藤にご連絡下さい。

何としても地域のために解決したいと考えます。

(1) 共同住宅の不適正排出

町内会や自治会が管理する共用ごみステーションの利用者から、排出マナーの良くない既存共同住宅居住者を切り離すために、既存共同住宅敷地内への専用ごみステーション設置を推進している。

こんどう和雄政務調査室

ごみ量管理目標（改訂版）と実績一覧表……お陰様で市内各町内会をはじめ、地域の皆様のご協力でごみの減量目標が達成できそうです

項 目	16年度 (改定前基準)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (改定後基準)	25年度
	人口【人】									
	1,868,289	1,880,875	1,888,687	1,894,344	1,898,473	1,904,278	1,914,434	1,921,935	1,928,776	1,936,189
廃棄ごみ量(全体)										
廃棄ごみ量【ト】	823,600	800,626	774,439	729,781	676,575	563,359	494,249	491,376	490,367	500,526
家庭ごみ量【ト】	440,016	441,662	433,989	427,312	416,845	341,359	282,638	289,810	291,033	296,351
事業ごみ量【ト】	383,584	358,964	340,450	302,469	259,730	222,000	211,611	201,565	199,334	204,175
家庭から出る廃棄ごみ量										
1人1日当たり【g】	645	643	630	616	602	491	404	412	413	419
★家庭から出る生ごみ量										
生ごみ量【ト】	139,046	135,622	118,583	119,669	117,063	119,132	110,195	109,999	113,577	110,552
リサイクル率										
リサイクル量【ト】	154,134	155,629	151,540	146,351	139,249	185,623	191,557	185,933	181,043	186,464
リサイクル率【%】	16.0	16.5	16.6	16.9	17.3	25.1	27.6	27.3	26.7	27.1
焼却ごみ量										
焼却ごみ量【ト】	701,614	696,926	676,875	635,974	587,202	486,604	437,188	436,888	438,269	444,378
埋立処分量										
埋立処分量【ト】	221,707	197,807	188,948	178,447	164,995	136,265	105,463	99,144	98,034	104,344

26年度	対16年度比 (改定前基準年度 比)		対24年度比 (改定後基準年度 比)		29年度 (最終目標)
	対16年度比 (改定前基準年度 比)	対24年度比 (改定後基準年度 比)	対16年度比 (改定前基準年度 比)	対24年度比 (改定後基準年度 比)	
	1,942,648	+74,359人 (4.0%)	+13,872人 (0.7%)		
	481,858	▲341,742t (▲41.5%)	▲8,509t (▲1.7%)		460,300
	287,384	▲152,632t (▲34.7%)	▲3,649t (▲1.3%)		▲
	194,474	▲189,110t (▲49.3%)	▲4,860t (▲2.4%)		▲
	405	▲240g (37.2%)	▲8g (▲1.9%)		380
	111,380	▲27,666t (▲19.9%)	▲2,197t (▲1.9%)		103,500
	186,141	+32,007t (+20.8%)	+5,098t (+2.8%)		241,600
	28.0	+12.0ポイント	+1.3ポイント		30
	434,364	▲267,250t (▲38.1%)	▲3,905t (▲0.9%)		410,200
	94,184	▲127,523t (▲57.5%)	▲3,850t (▲3.9%)		78,000

★平成26年3月の計画改定時に新たに設定

26年度	対16年度比 (改定前基準年度 比)		対24年度比 (改定後基準年度 比)		29年度 (最終目標)
	対16年度比 (改定前基準年度 比)	対24年度比 (改定後基準年度 比)	対16年度比 (改定前基準年度 比)	対24年度比 (改定後基準年度 比)	
人口	1,942,648	+74,359人 (4.0%)	+13,872人 (0.7%)		1,935,000
廃棄ごみ量	481,858	▲341,742t (▲41.5%)	▲8,509t (▲1.7%)		460,300
家庭ごみ量	287,384	▲152,632t (▲34.7%)	▲3,649t (▲1.3%)		287,384
事業ごみ量	194,474	▲189,110t (▲49.3%)	▲4,860t (▲2.4%)		194,474
1人1日当たり	405	▲240g (37.2%)	▲8g (▲1.9%)		380
生ごみ量	111,380	▲27,666t (▲19.9%)	▲2,197t (▲1.9%)		103,500
リサイクル率	186,141	+32,007t (+20.8%)	+5,098t (+2.8%)		241,600
リサイクル量	28.0	+12.0ポイント	+1.3ポイント		30
焼却ごみ量	434,364	▲267,250t (▲38.1%)	▲3,905t (▲0.9%)		410,200
埋立処分量	94,184	▲127,523t (▲57.5%)	▲3,850t (▲3.9%)		78,000

9. 札幌市町内会・自治会の加入状況

1 区別状況

平成 27 年 1 月 1 日現在

区名	連町数	単町数	人口	総世帯数	加入世帯数	加入率
						%
中央区	16	260	233,397	130,591	83,686	64.08
北区	11	314	283,959	135,187	98,276	72.70
東区	10	273	259,805	125,107	85,805	68.59
白石区	8	147	209,076	106,413	60,206	56.58
厚別区	6	85	128,070	57,136	43,161	75.54
豊平区	9	296	218,226	113,675	77,950	68.57
清田区	5	100	116,314	44,871	34,820	77.60
南区	10	254	141,749	63,408	51,318	80.93
西区	8	291	212,295	99,829	72,662	72.79
手稲区	7	192	140,832	58,041	46,641	80.36
全市	90	2,212	1,943,723	934,258	654,525	70.06

※人口・世帯数は国勢調査ベース

近藤議員の提言

平成 28 年には全市の加入率 70%を切る。町内会加入促進条例が何としても必要。

2 年次別加入率状況(各区)

年次	全市	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
元	83.01	83.69	79.37	89.61	74.31	—	80.39	—	88.94	88.97	—
2	81.70	81.76	78.21	87.75	68.45	81.41	79.54	—	88.52	86.59	91.13
3	80.56	77.99	76.91	86.13	66.29	80.56	79.91	—	90.36	85.99	90.61
4	79.41	76.21	75.03	84.56	65.03	81.54	79.16	—	89.89	84.39	90.03
5	77.85	73.48	73.83	83.15	63.84	79.63	76.91	—	89.29	83.73	88.15
6	77.67	74.39	73.36	82.61	62.75	79.14	77.18	—	89.96	83.34	87.03
7	77.46	74.69	73.94	82.84	62.61	79.72	74.53	—	89.49	83.32	88.68
8	77.98	73.68	75.57	81.76	63.10	81.97	76.76	—	88.59	83.62	88.51
9	77.42	73.54	75.18	81.40	62.75	81.40	75.77	—	87.44	82.66	88.51
10	76.78	72.63	74.91	79.57	62.07	81.06	72.82	82.92	87.25	81.89	88.11
11	76.36	72.67	74.66	79.00	61.42	80.44	72.21	82.01	87.58	81.35	87.12
12	75.81	72.22	73.96	78.44	60.82	79.12	72.80	80.36	87.08	80.46	86.54
13	76.19	72.35	74.82	78.32	61.35	80.13	72.20	82.18	86.93	81.04	87.53
14	76.12	72.41	75.52	78.17	60.87	79.74	72.52	81.00	86.42	80.95	87.48
15	75.74	70.20	75.31	77.57	60.60	79.67	73.39	81.83	85.50	80.73	87.33
16	75.07	69.30	74.37	77.26	60.14	79.24	72.64	81.75	84.79	79.75	86.77
17	74.92	69.50	74.55	76.62	60.40	79.54	72.90	81.60	84.03	78.87	86.31
18	74.57	69.01	74.89	76.26	60.07	79.16	73.21	81.33	82.89	77.91	85.45
19	73.75	68.72	74.44	75.31	58.99	78.66	72.18	81.57	81.98	76.58	83.78
20	73.13	68.30	73.56	73.92	58.76	78.01	72.18	80.73	82.08	75.67	83.23
21	73.29	68.60	74.74	74.03	58.17	77.43	72.16	80.80	82.73	75.73	83.02
22	72.79	67.80	75.02	73.10	57.62	77.42	70.91	80.72	82.38	75.43	82.67
23	72.46	67.08	74.78	72.74	57.06	78.37	70.55	79.86	82.84	75.05	82.18
24	71.73	66.55	74.24	71.49	56.35	77.55	69.83	78.90	82.12	74.75	81.39
25	71.07	65.22	73.40	70.38	56.71	76.65	69.25	78.66	81.87	74.49	80.83
26	70.48	63.92	73.35	69.45	56.55	75.48	68.70	78.06	81.59	73.99	80.71
27	70.06	64.08	72.70	68.59	56.58	75.54	68.57	77.60	80.93	72.79	80.36

各年 1. 1 現在 [単位: %]

10. 北海道新幹線(新函館北斗→札幌)の早期実現

近藤議員の提言

近藤議員は、景気回復と雇用の確保のために北海道新幹線札幌延伸を1日も早く実現します。民主党政権、3年3ヶ月は何を国民のために役立ったのかと強く考えます。

北海道新幹線の札幌延伸～北海道の発展を支える未来の資源

人口100万以上の政令都市で新幹線がない都市は、札幌市だけです。

私は、平成19年5月から2年間、市議会新幹線調査特別委員長として国会、国土交通省等へ陳情、新幹線の効果を確かめるため各都市を視察し、勉強を重ねてまいりました。

人口100万人以上の政令都市で新幹線がないのは札幌市のみです。

私たちの長年の夢であった北海道新幹線の札幌延伸が、5年短縮され、平成42年度(2030年度)までに実現されることになりました。この札幌延伸によって、国土の北から南までを一貫してつなぐ「背骨」ともいうべき高速鉄道ネットワークが形成され、特に、北海道と東北・北関東との交流が盛んになり、ヒトやモノの流れが活発化することなどにより、道内全体に様々な効果がもたされることが期待されています。

そこで、その起点となる札幌は、新たな経済交流圏との連携強化や末端駅としての強みを生かした企業集積、さらには、道内各地のハブの役割を果たすための交通機能の強化などについて、今から積極的に進めていくことが必要です。したがって、今後、私たちは、様々なまちづくりの取組を展開していくに当たり、他移動新幹線を北海道・札幌の発展を支える重要な資源として捉え、その整備効果を最大限に発揮させ、道内全域に波及させていく視点を持つことが重要です。

新幹線は

- 1.安全性に優れている 50年間死亡者数、負傷者数0
- 2.環境にやさしい エネルギーは航空機の1/3、乗用車の1/6
- 3.二酸化炭素排出量(CO²) 航空機の1/5、乗用車の1/8
- 4.定時運行に優れている 運休(欠航率) 新幹線0.18%
航空機0.30%(雪に弱い)

北海道新幹線札幌開業に向けて…札幌市の負担 約350億円です。

(1)新函館・札幌間ルート

- ①区間 211km 総工事費 1兆6,700億円
うちトンネル区間 約169.8km(約80%)
- ②東京↔札幌までの所要時間
5時間15分…現在9時間10分 最高速度260km
- ③新幹線ホーム 現在の札幌駅にすべきです。

(2)建設工事で約20万人の雇用生まれる。

(3)経済波及効果2兆6千億円。

(4)開業後は、利用客の消費活動等で、年間900億円以上の経済効果が生まれます。

11. 市議会超党派プロジェクトチーム議員立法の成果

こんどう和雄政務調査室

政策プロジェクト議員立法による

「札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例」

違反者件数と収納状況

	違反者件数					収納状況	
	喫煙行為		ポイ捨て	犬のふん	納付者数	収納率	
	歩行喫煙	灰皿未設置					
H17	252	190	48	14	0	223	88.5%
H18	287	191	49	47	0	242	84.3%
H19	203	125	31	47	0	165	81.3%
H20	137	80	16	41	0	107	78.1%
H21	223	107	98	18	0	180	80.7%
H22	204	125	56	23	0	160	78.4%
H23	164	73	81	10	0	143	87.2%
H24	308	90	139	79	0	287	93.2%
H25	311	122	126	63	0	294	94.5%
H26	402	161	188	53	0	383	95.3%
H27(9月末)	241	99	94	48	0	228	94.6%
合 計	2,732	1,363	926	443	0	2,412	88.28%

違反者は過料1,000円を札幌市に収納する。現在まで総額2,412,000円。

近藤議員とプロジェクトは「札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱防止等に関する条例」を、3年かけて市議会初の議員立法による条例制定第1号と、記念すべき条例です。平成16年12月14日市議会で可決成立した。6名(自民3名・公明3名)の議員で組織され、お陰様で札幌駅前通りと大通地区が綺麗になりました。

政策プロジェクト議員立法による 札幌市エコリフォーム補助制度について

…近藤議員は政策プロジェクト 8 名の会長です。

1. 補助申請の状況

年 度	受付期間	予算額 (千円)	補助申請状況(千円)		工事費 (千円)	経済効果 倍
			件数	申請額 (千円)		
平成 22 年度	7/1～10/29	15,000	43	9,552	240,487	16 倍
平成 23 年度	5/9～20、8/29	25,000	142	27,993	558,348	22 倍
平成 24 年度	5/7～11/9	100,000	492	88,399	2,066,316	20 倍
平成 25 年度	5/7～9/6	100,000	731	116,154	2,753,615	27 倍
平成 26 年度	5/7～10/7	120,000	835	115,183	2,512,445	21 倍
平成 27 年度	5/7～	120,000				
	一次募集	80,000	655	80,571	1,621,407	20 倍
	二次募集	40,000	229	26,130	455,632	11 倍

※平成 27 年度分は、H27.9.30 現在

政策プロジェクトチームの狙いは市民が自宅をリフォーム工事を発注することによって札幌市内中小建築会社が、仕事に直結し、経済効果につながっている。

2. 実績及び補助対象工事内訳

【平成 26 年度実績】 補助件数 835 件 補助金額 115,183 千円

【平成 26 年度 補助対象工事内訳】

種別	バリアフリー化							省エネ改修				件数	補助金額 (千円)
	浴室	トイレ	階段	段差	通路	手摺	出入口	浴室	トイレ	窓	断熱		
計	418	83	14	151	5	380	83	413	379	187	44	835	115,183
小計	1,134							1,023					
割合	52.6%							47.4%				100.0%	

※1 つの申請で複数の補助対象工事の場合があるため、総件数とは一致しない。

※バリアフリー化・省エネ改修の両方に該当する場合は、それぞれカウントしている。

近藤議員の提言

1. 近藤は超党派 8 名で組織する政策プロジェクトの会長です。
2. 札幌市エコリフォーム条例は、札幌市議会超党派 8 名(自民 3 名・公明 3・民主 2 名)の議員により理念と政策立案に強く勉強する議員と共に市議会で札幌市長に政策を提言し、議員立法により平成 21 年 11 月 26 日「住宅エコ・リフォーム促進条例」を制定。
3. 議員が自ら勉強して議員立法により市民生活に密着した条例制定することが何よりも求められており、たえず近藤は、条例制定のヒントを求めて夢の実現のため日々行動しています。

12. 平成27年度札幌市除雪事業計画 総額 188 億円

(1) 除雪費内訳

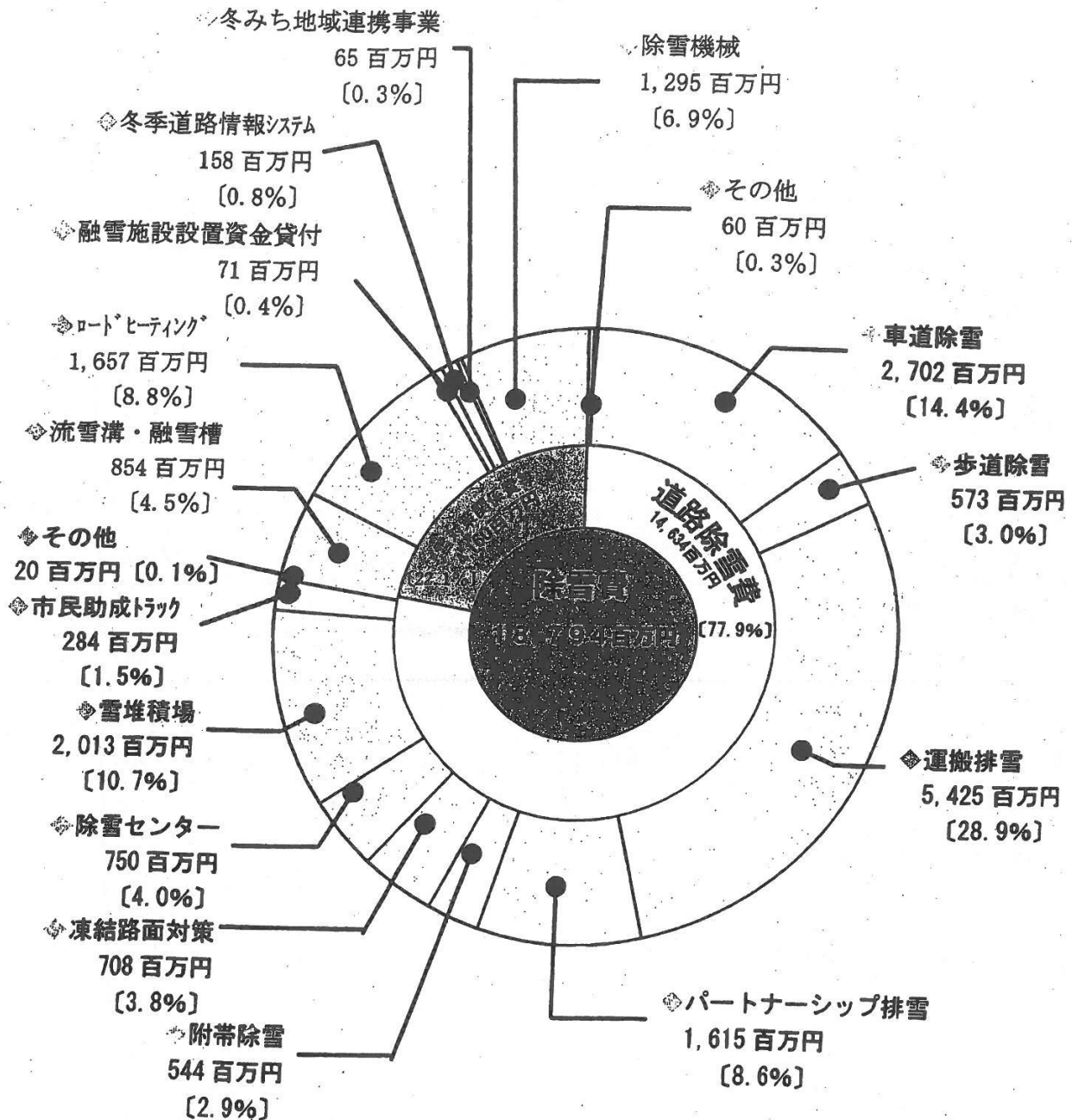
(単位：百万円)

	作 業 種 目	平成 26 年度 当初予算	平成 27 年度 当初予算	対前年比	平成 27 年 2 定 補正後予算
道 路 除 雪 費	車道除雪	2,532	2,620	1.03	2,702
	歩道除雪	527	553	1.05	573
	運搬排雪	4,335	4,587	1.06	5,425
	ハートナック排雪	1,439	1,524	1.06	1,615
	附帯除雪	462	521	1.13	544
	凍結路面对策	683	696	1.02	708
	除雪センター	690	727	1.05	750
	雪堆積場	1,895	1,972	1.04	2,013
	市民助成トラック	272	284	1.04	284
	その他	20	20	1.00	20
	合計	12,855	13,504	1.05	14,634
雪 対 策 関 係 費 等	流雪溝・融雪槽	762	844	1.11	854
	ロードヒーティング	1,517	1,657	1.09	1,657
	融雪施設設置資金貸付	70	71	1.01	71
	冬季道路情報システム	157	158	1.01	158
	地域と創る冬みち事業	62	0	皆減	0
	冬みち地域連携事業	0	30	皆増	65
	除雪機械	1,164	1,295	1.11	1,295
	備荒資金納付金	1,500	0	皆減	0
	その他	14	5	0.36	60
	合計	5,246	4,060	0.77	4,160
除 雪 費		18,101	17,564	0.97	18,794
(うち備荒資金を除く)		(16,601)	(17,564)	1.06	

※ 平成27年度当初予算増減の主な理由
 ① 労務単価等上昇への対応 +590百万円
 ② 電気料金値上げ対応 +222百万円
 ③ 除雪機械他 +151百万円
 ④ 備荒資金 -1,500百万円

※ 平成27年2定補正額 1,230百万円 平成27年7月17日議決
 ① 労務単価等上昇への対応 400百万円
 ② 交差点排雪の強化 740百万円
 ③ 冬みち地域連携事業 35百万円
 ④ 冬のみちづくりプラン推進 55百万円

除雪事業構成割合



➤ []は、除雪費に対する割合を示す(四捨五入の関係で合計が100%とならない)。

13. 平成27年度国民健康保険料率の概要

1. 保険料率

(1) 医療分+支援金分

平均所得の減などにより、平成26年度に比べ上昇。

区分	平成26年度	平成27年度	増減(▲)
平等割 (世帯割)	42,230円	42,340円	110円
均等割 (人数割)	21,960円	22,200円	240円
所得割	11.60%	11.80%	0.20%

限度額：69万円（前年度比+2万円）

2. 年別保険料（モデルケース）

(1) 給与2人世帯（医療分+支援金分+介護分）

年収	平成26年度	平成27年度	増減(▲)
～98万円	32,790円	32,710円	▲80円(▲0.24%)
100万円	57,640円	57,490円	▲150円(▲0.26%)
200万円	220,250円	219,400円	▲850円(▲0.39%)
300万円	346,560円	345,160円	▲1,400円(▲0.40%)
400万円	456,970円	455,050円	▲1,920円(▲0.42%)
500万円	576,330円	573,850円	▲2,480円(▲0.43%)
600万円	682,020円	692,650円	10,630円(1.56%)
700万円	779,460円	809,590円	30,130円(3.87%)

(2) 介護分

介護給付費の減により、平成26年度に比べ減少。

区分	平成26年度	平成27年度	増減(▲)
平等割 (世帯割)	9,840円	9,400円	▲440円
均等割 (人数割)	6,680円	6,460円	▲220円
所得割	3.32%	3.05%	▲0.27%

限度額：16万円（前年度比+2万円）

(2) 年金2人世帯（医療分+支援金分）

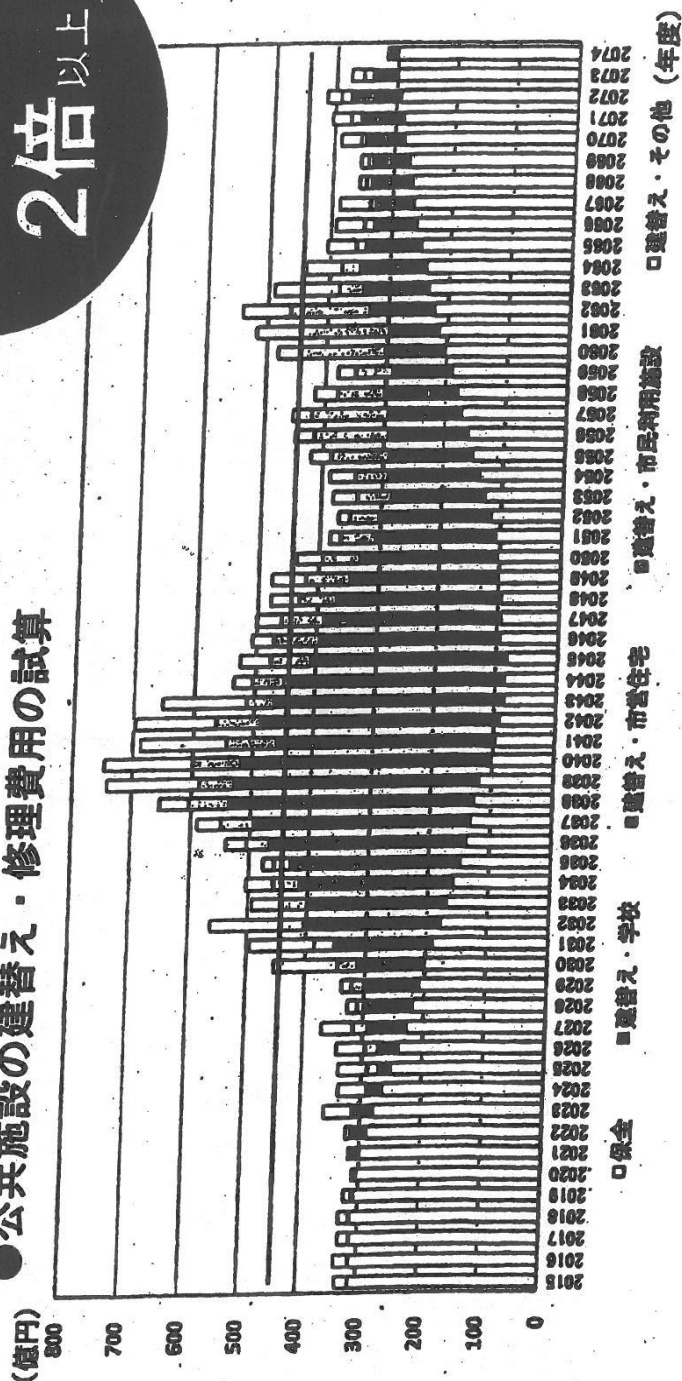
年収	平成26年度	平成27年度	増減(▲)
～153万円	25,830円	26,020円	190円(0.74%)
200万円	97,590円	98,820円	1,230円(1.26%)
300万円	256,660円	260,190円	3,530円(1.38%)
400万円	352,360円	357,540円	5,180円(1.47%)
500万円	449,800円	456,660円	6,860円(1.53%)
600万円	548,400円	556,960円	8,560円(1.56%)
700万円	647,000円	657,260円	10,260円(1.59%)

注：料率の告示は6月1日（月）に告示。納付通知書は6月15日（月）に発送。

1 4. 札幌市都市基盤建替えの集中

25年後、
建替え、
修理の費用が
2倍以上

●公共施設の建替え・修理費用の試算



1 5.近藤議員は札幌市・豊平区・地域の課題に果敢に挑戦し解決した。

1. 月寒水源池通(月寒中央通 7 丁目)ごみ屋敷、解決

月寒水源池通のごみ屋敷は、地域の皆様が 1 日も早い解決を熱望していました。放火・環境衛生上・景観です。4 年前より冷蔵庫、洗濯機等、大小のごみが、一方、通勤途中に車輛を止めて不法投棄され、ごみ山となって悪臭が漂うまるで無法地帯でした。

近藤議員は、本庁環境局不法投棄対策課と何度も解決の会議を開催した結果、近隣の町内会の協力をいただき 27 年 5 月 18 日ごみ屋敷が更地となり全面解決した。最後まで諦めないで全力投球！

ごみ屋敷解決前



ごみ屋敷解決後



2. 月寒公民館(月寒中央通7丁目)舞台照明増設と音響機器改修

近藤議員に月寒地区町内会より①改装になった舞台照明が暗い②音響機器が古い
ため音が割れるとの苦情がありました。所管する教育委員会と交渉し、予算を付
けて昨年10月下旬に照明増設工事完了、併せて音響機器を数年かけて更新工事
を実施する。



3. 月寒小学校(月寒西2条5丁目)外壁工事完了

月寒神社東側に位置する月寒小学校外壁は、長い年月で塗装が剥がれた状態です。
教育委員会より予算計上により工事は、27年7月6日~11月13日まで実施。
綺麗に完了しました。



4. 月寒六区町内会(月寒西1条・月寒中央通)市道の舗装工事

月寒六区町内会(鎌倉伯男会長)より生活道路が凹凸で日常生活に支障あり、何とか解決してほしい。近藤議員は豊平区土木部に粘り強く交渉した結果、月寒西7丁目3号線～月寒西1条2丁目線の道路舗装工事实施した。

平成27年12月12日完了。残りは28年度予算で工事完結する。



5. 美園環状通(美園11条7丁目)歩道の樹木剪定完了

美園地区お住まいの方より、歩道上の樹木の枝が自宅の壁にかかり迷惑していると近藤事務所に苦情がありました。早速、現場写真を撮り、豊平区土木部に交渉した結果、27年11月中旬に剪定完了。



6. 月寒公園(美園 12 条 8 丁目・月寒西)事業費 26 億円かけて大整備工事中

…完成 29 年度

近藤議員は、議員初当選(平成 11 年 4 月)後の代表質問で、市長に対し「50 年過った月寒公園は、市民の憩いの場にふさわしい公園にすべき」と求め、再整備事業が 23 億円の予算で決定した。平成 28 年度は①坂下野球場周辺②野球場整備③管理事務所④ボート池周辺⑤園路・子ども水遊び場等を工事です。併せて「緊急貯水槽・災害発生時坂下地下駐車場」に貯水槽 100 t の飲料水を保管できる地域の安全・安心の暮らしを守る工事实施。予算は当初 23 億円から 26 億円に増額した。粘り強く市長に交渉した成果。



完成した高台野球場



完成したパークゴルフ場 18 ホール



完成した森の遊び場



工事中のボート池周辺

7. 地下鉄南平岸駅前歩道上の放置自転車を駐輪場増設により解決

近藤議員は、市長に強く提言して地下鉄南平岸駅高架下の市所有地を整地して、自転車駐輪場を増設し、平成 27 年 5 月に完成した。

併せて南平岸駅耐震化工事は、9 億円かけて平成 27 年 3 月末に完了。駐輪場は 100 台～110 台使用可能になり、ローソン前、マックスバリュ南側の放置自転車は 7 年がかりで解決した。これにより歩行者、特に障がい者・子ども・女性・お年寄り
は安心してスーパーに買物は勿論、南平岸駅等、利用できます。

自転車駐輪場増設後の南平岸駅ローソン前



自転車駐輪場増設後の南平岸駅マックスバリュ前



南平岸駅高架下新駐輪場



8. 中の島小学校(中の島2条1丁目)改築工事着工決定…全道一の学校誕生！

近藤議員は、中の島小学校校舎改築検討委員会委員です。

近藤議員は、札幌市の小・中学校の耐震化率 100%達成するため、市長をはじめ、教育長に強く求め、命懸けで行動してまいりました。

中の島小学校は、建築後 50 年が経過し、大地震から「大切な子どもの命を守る」「学校は災害発生時地域住民の避難場所」です。新しい教室と新体育館は中の島小グラウンドに建築します。

建設工事 着工 平成 28 年 6 月 完成 29 年 7 月

特徴

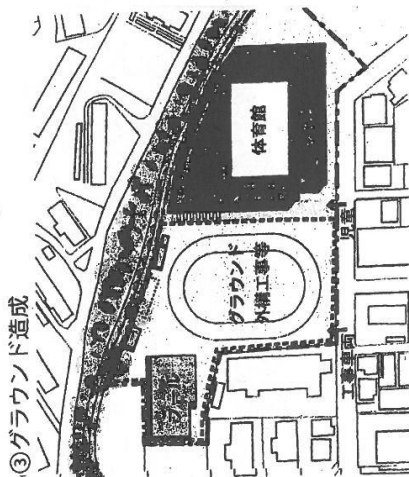
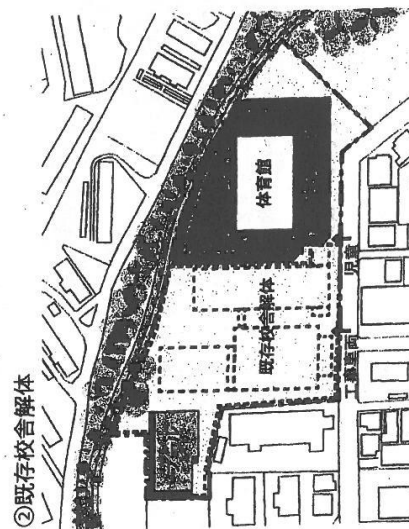
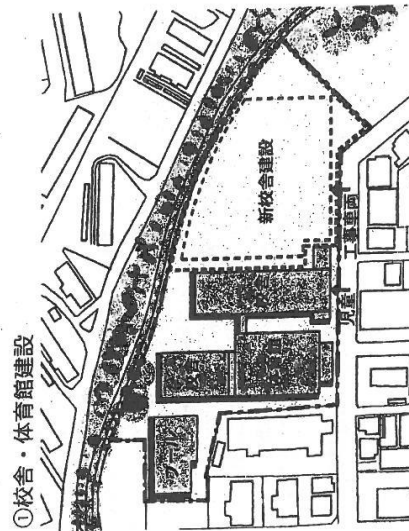
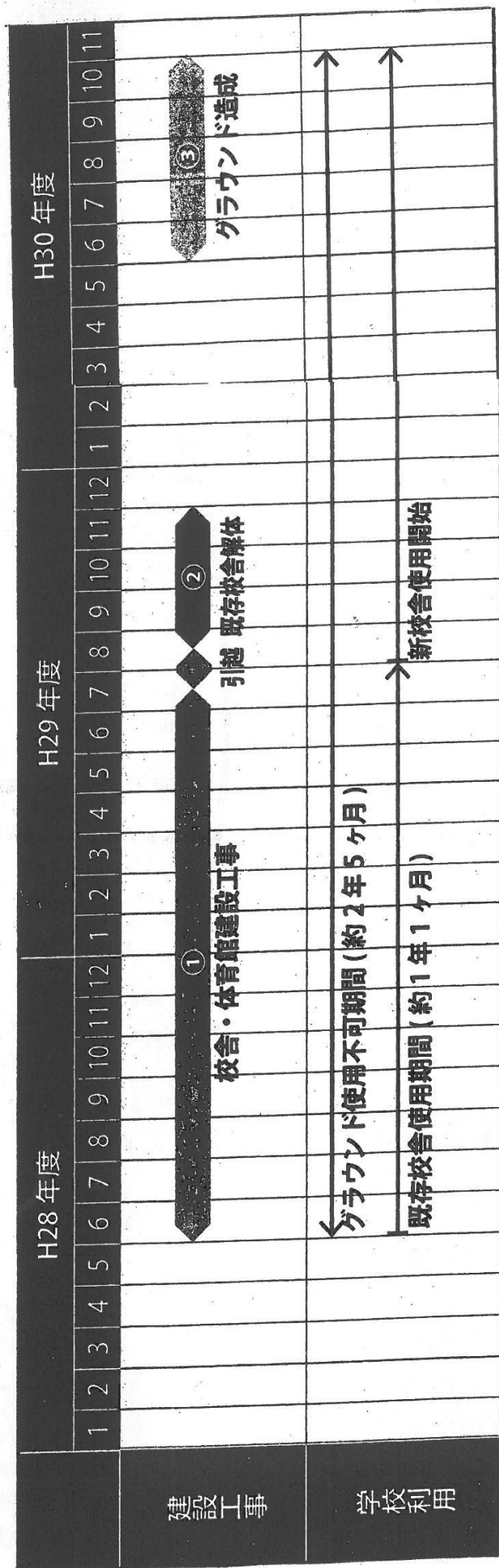
体育館内包型校舎…体育館を中心とした一体感のある校舎をつくります。

現在
の
中
の
島
小
学
校



新
し
い
教
室
、
体
育
館
は
グ
ラ
ン
ド
に
建
築
す
る





9. 児童養護施設(北区新琴似4条9丁目1-1)

新園舎の建て替え決定・完成は28年8月予定

近藤議員は児童養護施設興正学園の建て替えを3年がかりで市長をはじめ、子ども未来局長、児童相談所長、財政局に何度も足を運び、札幌市から多額の補助金をいただき建て替えが実現した。当施設は、昭和53年に建築され37年の歳月を経過し施設の老朽化が大きな課題となっていました。

児童養護施設は、親の虐待(入居者の7割)、離婚等で親元から離れている大切な子ども達を、ある時は、父・母・兄・姉のように施設長をはじめ、職員の皆様が365日、親身になって日々の生活を教育、指導する施設が「新琴似興生こども家庭センター」です。

新園は、36人の子ども達がそれぞれ独立した形で生活できる（プライバシーを大切に）ように配慮されている建物です。

完成が待ち遠しい！ 子ども達の「笑顔」が楽しみ！

平成27年10月着工

平成28年8月完成予定

